



エビデンスと共に考える「いのち」と「暮らし」を豊かにする講座

第9回

同調性を科学する

パンデミック下における感染予防行動

北村 周平氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点(CiDER) 特任准教授(常勤)

会場参加(※事前申込要) / オンライン参加(申込不要)

2023年12月22日(金) 19:30 ~ 20:30
・会場：グランフロント大阪 北館 2F SpringX
・オンライン：YouTube Live

エビデンスと共に考える「いのち」と「暮らし」を豊かにする講座

2021~2022年度の2年間、大阪大学感染症総合教育研究拠点(CiDER)は、『感染症から「いのち」と「暮らし」を守る講座』を通じて、パンデミックという緊急事態に対応する方法をお届けしてきました。今年度からは、パンデミック後の社会や将来のパンデミックをみすえて講座をリニューアルして、科学的根拠(エビデンス)と上手に付き合いながら、私たちの「いのち」と「暮らし」を豊かにする術(すべ)を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。大阪大学のさまざまな分野の研究者が、中学生から大人までを対象に、わかりやすく解説する全12回のプログラムです。

講座概要

皆さんは、自分自身がある行動をとるときどれくらい周りの人の行動を気にしますか？

パンデミック下では、例えばマスクをはずす、ワクチンを打つなど、個々の判断を迫られる機会がありました。あまり迷わず行動する、周りの人の様子を伺うなど、人によって様々だと思います。

実は、データを眺めると、意外と多くの方が周りの人の行動に同調するように行動していることがわかってきます。

この講義では、人々の同調行動について、パンデミック下における感染予防行動を中心に、最近の研究からわかってきたことをお伝えします。

講師



北村 周平氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点(CiDER) 特任准教授(常勤)

2016年、ストックホルム大学国際経済研究所にてPh.D.(経済学)を取得。ロチェスター大学ワリス政治経済研究所ポスドク、大阪大学国際公共政策研究科講師、准教授を経て、2021年より現職。

専門は政治経済学、経済発展論。主著：『民主主義の経済学—社会変革のための思考法』日経BP(2022年)。

▶ 12月22日開催講座の詳細・
会場参加申込・オンライン視聴はこちら

<https://kc-i.jp/activity/chogakko/cider2023/detail20231222.php>



▶ 過去の講座はアーカイブで視聴できます。

<https://www.cider.osaka-u.ac.jp/project/project01.html>



主催 助成 CiDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点)、一般社団法人ナレッジキャピタル
日本財団

問い合わせ

大阪大学感染症総合教育研究拠点

☎ 06-6879-4903 ✉ pr@cider.osaka-u.ac.jp🌐 <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/index.html>